

## 補足説明

- ★このプログラマブルタイマーキットはP I C A X Eを使用したプログラミング学習用に用意されたキットです。
- ★製作後は、対応するソフトウェアを使用し、作成したソフトウェアを書き込む事により動作いたします。
- ★プログラムの書き込みにはこのキットに加え、下記の専用ケーブルが必要になります。
  - P I C A X E USBダウンロードケーブル  
[AXE027] 通販コード M-06611 ￥1500  
ケーブルのデバイスドライバはこちらです。  
<http://www.picaxe.com/downloads/axe027.zip>
- ★製作、テスト、簡単な導入は下記教本（英語）をご覧ください。
  - 教本  
[http://akizukidenshi.com/download/ds/kitronik/2121\\_Programmable\\_timer\\_teach\\_notes\\_V1\\_2.pdf](http://akizukidenshi.com/download/ds/kitronik/2121_Programmable_timer_teach_notes_V1_2.pdf)
- ★上記教本で使用しているサンプルソフトを動作させる為には下記ソフトが必要です。
  - フローチャート式プログラミングソフト  
LOGICATOR LGC001  
<http://www.picaxe.com/downloads/lgc001.exe>
- ★また、上記教本内で解説していますサンプルソフトは下記からダウンロードしてください。  
[https://www.kitronik.co.uk/zip/logicator\\_timer\\_tasks.zip](https://www.kitronik.co.uk/zip/logicator_timer_tasks.zip)
- ★プログラミングソフトの使用方法は下記からダウンロードできます。
  - PIC LOGICATOR GUIDE  
[https://www.kitronik.co.uk/pdf/logicator\\_timer\\_pdf\\_guide.pdf](https://www.kitronik.co.uk/pdf/logicator_timer_pdf_guide.pdf)

### ご注意)

教本の説明には「P I C A X E 0 8」を指定するように記載されておりますが、キットには最新の「P I C A X E 0 8 M 2」が入っております。上記プログラミングソフトのメニューバーの「Options」⇒「PICAXE Setup」の「Select the type of PIC chip」からP I C A X E 0 8 M 2を指定してください。

### ■基板テストの流れ■

- 1) ダウンロードケーブル用デバイスドライバ、プログラミングソフト、サンプルソフトをダウンロードします。
- 2) ダウンロードケーブルのデバイスドライバをインストールします。
- 3) プログラミングソフトをインストールします。
- 4) ケーブルを接続します。
- 5) プログラミングソフトを立ち上げます。
- 6) メニューバーの「File」からサンプルソフトフォルダの「timer test program.plf」をOPENします。
- 7) メニューバー「Options」⇒「Select PIC Type」を開き、PICAXE08M2を指定します。
- 8) 同じウインドウの「Configure the I/O」で「3 In - 3 Out(0,1,2)」を選びます。
- 9) 同じウインドウの「Select Port」タブを開き、ダウンロードケーブルのポートを設定します。
- 10) 「OK」をクリックしてウインドウを閉じます。
- 11) メニューバーの「PIC」⇒「Program PIC」でプログラムをタイマ基板に書込みます。
- 12) 書込み後は、電源をONすると2秒LED点灯2秒ブザーその後はスイッチを押すとLEDが点灯します。

以上で動作確認は終了です。

プログラミング用ソフトを使いこなして様々なプログラムを作成してください。